

2学年通信

新宮町立新宮東中学校
令和7年9月9日 第46号
文責:江頭 俊輔

[坂本九さんを知っていますか?]

今日は9月9日です。1年に1度の9が2つ並ぶ日です。そこで、今回は「坂本九」(右写真)さんことを共有したいと思っています。とても有名な曲をいくつも残した歌手です。また、司会者や俳優としても活躍されました。1963年にはアメリカで最も権威のあるヒットチャート『ビルボード』の「Billboard Hot 100」で、3週連続1位となりました。**2025年現在、「Billboard Hot 100」で1位を獲得した日本出身者は坂本九さんだけです。**62年経っても破られない記録を持っている、世界的にも名の知られた日本人歌手の一人です。「上を向いて歩こう」「見上げてごらん夜の星を」「明日があるさ」「幸せなら手をたたこう」、合唱曲では「心の瞳」など、みなさんも一度は聞いたことがある曲が多数あると思います。今回は名曲の中から2曲を紹介します。



[上を向いて歩こう]

上を向いて歩こう
涙がこぼれないように
泣きながら歩く
一人ぼっちの夜

なんといっても「上を向いて歩こう」は坂本九さんを代表する曲の1つです。この曲を聴くと、なぜか心が穏やかな気持ちになるのは、私だけではないはずです。中学時代はそうでもなかったのですが、30代になって江頭は少し涙もろくなっていました。中学生のみなさんには、『一人ぼっちで夜に泣きながら歩く』という情景がつかみにくいかもしれませんが、私は逆にそんな経験がありすぎて、共感の嵐です。うまくいかないことがあって、でも自分の力だけじゃどうしようもなくて、他に頼る人もいなくて、むしろ相談もできなくて、うまくいかない自分とうまくいっている他人を比較してどうしようもない夜が今後あるかもしれません。でも**「上を向いて歩こう」です。涙してもそれを肯定してくれる優しさに包まれましょう。**

[心の瞳]

「心の瞳」は、合唱曲として使われることが多いです。ゆっくりとしたメロディーに乗って「愛すること」に関する歌詞がすっと心に入ってくるような曲です。この曲の中でも「いつか若さをなくしても心だけは」という部分は、中学生の合唱を聴いていて、とてもぐっときます。(やはり江頭は老いているということでしょうか。) **みなさんも確実に若さをなくすときがきます。でも心だけは若い状態で、いつまでも情熱や煌めきを失うことなく、人生を歩んでいくことを祈っています。**

たとえ昨日を懐かしみふり向いても
それは歩いてた人生があるだけさ
いつか若さをなくしても心だけは
決して変わらない絆で結ばれてる

[1985年8月12日]

坂本九さんは数々の名曲を残し、40歳という若さで日航ジャンボ機墜落事故に巻き込まれて亡くなってしまいます。今年は40年ということでニュースにもなっていました。**NHKの朝の連続ドラマ「あんぱん」の中でも8時12分に「見上げてごらん夜の星を」が歌われ、命日と同じ数字ということで話題になりました。**今もなお、悲しみに暮れている人が多い事故であり、私は忘れないことが最も大切だと思って、40年という節目に学年通信で紹介しました。覚えてくれると嬉しいです。

